



廿日市市教委だより

～ 子どもたちの笑顔を守るのはわたしたち ～

平成29年
9月27日
第4号

2学期がスタートし、早1ヶ月が経とうとしています。市内小・中学校の運動会や体育祭もほぼ終わりました。第4号は、10月の「ひろしま食育ウィーク」に向けた食育の話題と金剛寺小学校の職場を紹介します。



ふるさとの味 未来へつなぐ ひろしま給食



「ひろしま給食100万食プロジェクト」が5年目を迎えました。

広島ならではの給食メニューを開発し、10月15日から21日までの「ひろしま食育ウィーク」に全給食実施校で広島県共通メニューが提供されます。

そして、家庭でも「ひろしま給食」を楽しむことで、学校・家庭・地域が一体となった食育を推進することをねらいとしています（廿日市市の目標は5万食）。

8月には、栄養教諭と学校栄養職員が調理実習をしたり、生産者の方への取材をしたりしました。地元の食材をおいしくいただくことは、地域の発展に寄与するとともに、地域に愛着をもつことにもつながります。

プロジェクトへのご理解・ご協力をお願いします。

☆広島サーモンのから揚げ

☆ゆで野菜

廿日市の広島サーモン、米粉を使用しています。

☆お宝^{はっ}けんピラフ

廿日市の米、まいたけ、あさり、こまつな、しょうゆを使用しています。



☆熱く燃えろ!! C^{シー}スープ (広島県共通メニュー)

廿日市の生しいたけを使用しています。



調理実習

廿日市市統一メニューです。
どうぞ、お楽しみに!!



宮島学校給食センター 平成29年度広島県学校給食表彰!



昨年度の大野東小学校に引き続き、廿日市市の学校及び給食センターが2年連続して受賞となっています。

8月8日に開催された「平成29年度広島県学校給食研究大会」において、宮島学校給食センターが「学校給食優良学校」として表彰されました。

宮島学校給食センターでは、旬の食材や地場産物を使った魅力あるメニューを提供しています。また、行事食や郷土料理を取り入れた食文化の継承、体験学習とリンクした献立の作成、「青空給食」など、小中一貫校の特色を生かした豊かで魅力ある学校給食を実施しています。



「熱く燃えろ!! C^{シー}スープ」が 試食できる!

第27回廿日市生涯学習フェスティバルで、試食ができます。

平成29年11月5日(日)
午前10時～午後3時
(雨天決行)

廿日市市庁舎屋外テント



広島レモン入り小松菜マドレーヌも試食できます。

学校現場ではベテランが退職し、初任者が増えてきています。その中で、指導技術を継承していくことは大きな課題です。今回の市教委だよりでは、金剛寺小学校に昨年度採用された加藤桃花教諭（画像右）、教務主任の谷本直子教諭（画像左）から話を伺いました。

金剛寺小学校は学年1学級規模の学校です。加藤先生は昨年度採用され、今年度2年生の担任をされており、隣の1年生の谷本先生の学級を見に行ったり、指導方法を教えてもらったりしながらこれまで実践を重ねてられました。



加藤先生へ質問

Q：今年度谷本先生からどのようなことを教わっていますか。

A：休憩中や放課後などに、谷本先生の動きや黒板に書かれていることや掲示物を見ています。また、授業中に隣の教室から聞こえてくる谷本先生の声に耳を傾け、どういう発問をしているか、どう言えば子どもたちが活発に動けるかを聞いて学んでいます。逆に、谷本先生が私の学級の前を通った時に気付いたことを教えていただいています。

Q：同じ学年に先生がいませんが、分からないことがあったらどのように解決していますか。

A：分からないことがあったら、自分から先生方に聞きに行っています。放課後が多いですが、休憩中にも聞きに行っています。金剛寺小学校の職員室の中に分からないことがあれば聞き合う雰囲気があるので、安心して聞くことができるし、先生方もいろいろ教えてくださいました。昨年度の初任者研修で、授業の内容や子どもたちの様子によって先生が動きや発言を変えていることが分かったし、授業参観の後にその先生に授業の内容以外のことも具体的に教えていただくことがあって、とても良かったです。

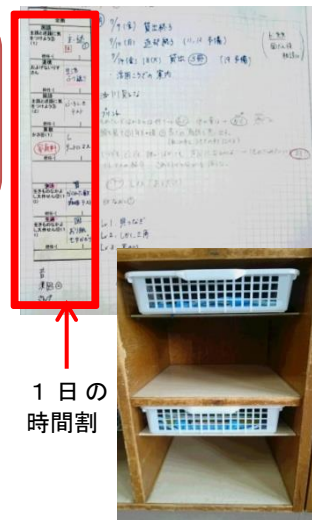
谷本先生へ質問

Q：加藤先生へどのような指導助言をされていますか。

A：昨年度、気付いたことなどを記録に取るように助言しました。日々の記録を取りやすくするため、ノートに1日の時間割を貼り、そのページにその日の記録を書くように伝えました。加藤先生はそれを今も実践しています。（右写真参照）

Q：日々の加藤先生を見ていて感じることはありますか。

A：加藤先生は、いろんな人の動きなどをよく観察していて、良いと思ったことをすぐに実践してみるところがすごいと思います。今年度、私の学級で後ろのロッカーの整理をするために子ども1人ずつにかごを購入して設置しました。その効果を加藤先生が感じて、今は2年生の学級にも取り入れています。このような実践は、私が先輩方から教わったものです。よいことは引き継いでいきたいです。



最後に加藤先生へ

Q：現在実践されていることを教えてください。

A：先の見通しを持って計画を立て、分からないことはなるべく早く先生方に聞くようにしています。1週間が始まったら、翌週の1週間の計画を立てたり準備したりすることを心がけています。学年行事もいつ実施したらよいかを早めに先生方に相談して計画を立てています。計画を立てたら、逆算していつから取組を始めるかを決めています。“失敗をおそれず、やるしかない！”という気持ちで日々取り組んでいます。

今回のインタビューから、学校の規模に関わらず、初任の先生の意識や心構え、校内の先生方の温かい雰囲気と協力で教職員が育つ環境が整うということを見ても金剛寺小学校の取組を見て改めて感じました。